

〈名画の扉〉

大川美術館日本画コレクションから



「朱富士」

1965〜73年ごろ、紙本彩色
27.2cm×46.1cm

横山 操 (1920〜73年)

横山操は新潟に生まれ、人間の精神を画面に追
れ、一時洋画を学ぶ 究しました。

が、日本画に転向しま 本作は金色の雲がた
す。1940年応召し なびく空と黄金に輝い
中国各地を転戦、終戦 て揺れる秋の草との間
後シベリアに抑留さ に燃えるような赤い富
れ、10年後に帰国。カ 士が凜(りん)とたたず
強い黒を主体とした画 みます。黒にはスス、赤
面の作品のほか、60年 には朱土や辰砂(しん
代から富士の連作も開 しゃ)が用いられ、岩
始します。帰国して4 絵の具のきらめきと繊
年後、絵画芸術につい 細なグラデーションで
て「絵画は天のもつ純 傾いた日の光を浴びて
粋論理性、地のもつ純 照らされた山肌が表現
粋論理性の様に、人の されます。

もつ粋論理性の中に 本作は「秋の彩り」
少なくともその全てを 日本画コレクション「
表出すべきだ」と記し で8日から展示しま
た横山。天と地を結ぶ す。
(大谷)